

プレスリリース (2013/9/29)



穂別博物館

HOBETSU MUSEUM

むかわ町立穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6

TEL・FAX 0145-45-3141

E-mail: hakubutukan@town.mukawa.lg.jp

URL: <http://town.mukawajg.jp/1908.htm>

現生のイカにつながるグループの系統進化を解明

穂別産標本は穂別小学校 6 年生（当時）が発見

[発表のポイント]

- 北海道から多産する謎の鞘形類の系統的位置について明らかにし、新属ロンギベルスを提唱した。
- 北西太平洋地域で最も若い（新しい）時代から産したロンギベルス穂別産標本は、（当時）穂別小学校 6 年生の中村剛瑠さんが発見・寄贈した。
- 穂別産標本と研究成果の概要は、むかわ町立穂別博物館で 10/1（火）から展示する。

[概要]

ベルリン自由大学（ドイツ）のダーク・フックス先生を中心とする研究グループは、穂別博物館の収蔵資料も用いた研究を行い、その成果を英国古生物学会誌（*Palaeontology*; パレオントロジー）で公表しました（9/11 にオンライン版で公開）。

北海道の白亜紀中ごろから後期の地層からは、謎の鞘形（しょうけい）類化石が多産していることが、古くから知られています。これらは、1991 年にナエフィア・マツモトイ（*Naefia matsumotoi*）として記載されましたが、鞘形類の進化における位置づけについては不明な点が多いままでした。

フックス先生を中心とする研究グループは、この問題を解決するため、主に白亜紀の中ごろから後期（約 1 億 2,000 万年から 6,600 万年前）の鞘形類化石の標本とデータを世界中から集め、殻の微細構造（結晶構造）や殻の表面の装飾パターンについて調べ、その系統・進化史について再検討しました。

その結果、おもに北海道から産する謎の鞘形類(ナエフィア・マツモトイ)は、チリなどから産するナエフィア属(トグロコウイカ目)と、殻の微細構造、殻表面の装飾、連室細管の位置が異なることから、別のグループであることが明らかになりました。そこで、これら主に北海道から産する謎の鞘形類を新属ロンギベルス(*Longibelus* n. gen.) (北海道産のものはロンギベルス・マツモトイ)として再記載しました。これらは白亜紀の中ごろから後期にかけて、主に太平洋地域に分布しており、現生のイカを含むグループである十腕形上目の祖先にあたります。

この論文で用いられた穂別産(穂別博物館収蔵資料)の標本は、北西太平洋地域で最も若い(新しい)地層から産した標本として、はじめて報告されました。この標本は、穂別博物館の「石割り化石さがし」という、化石が入っている可能性のある岩石(町が借りている土地から採集、蝦夷層群函淵層の約 7,000 万年前の地層から採集)をさしあげ、その岩石を割って化石を探してみるという行事で、中村剛瑠(たける)さん(2009 年当時穂別小学校 6 年生)が発見し、穂別博物館に寄贈していただいたものです。この標本が産した場所からはアンモナイトや二枚貝が多産しますが、ロンギベルスは、この 1 個体のみしか産していないこと、また北西太平洋地域において最も若い(新しい)時代の地層から産した標本であり、この種の絶滅時期を知るためなどにおいて重要なものです。

[展示]

むかわ町立穂別博物館では 10/1(火)~12/1(日)までミニ展示として、研究に用いられた穂別産標本と研究の概要について展示します。

[掲載論文名]

Longibelus n. gen., A new Cretaceous coleoid genus linking Belemnnoidea and early Decabrachia.

ベレムナイト亜目と初期十腕形上目をつなぐ白亜紀新属鞘形類ロンギベルス

[論文著者]

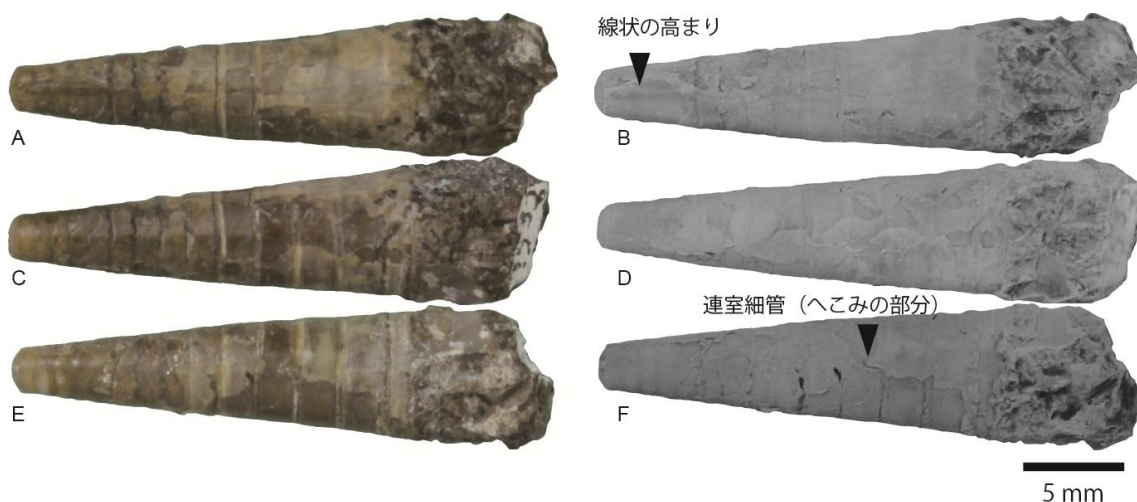
Dirk Fucks, Yasuhiro Iba, Christina Ifrim, Tomohiro Nishimura, William J. Kennedy, Helmut Keupp, Wolfgang Stinnesbeck, and Kazushige Tanabe [デューク・フック]

クス（ドイツ ベルリン自由大学 助教），伊庭靖弘（北海道大学 助教），クリスティナ・イフリム（ドイツ ハイデルバーグ大学 助教），西村智弘（穂別博物館 学芸員），ウィリアム・ケネディー（英国 オックスフォード大学 教授），ヘルムート・コイプ（ドイツ ベルリン自由大学 教授），ウォルガン・スティスベック（ドイツ ハイデルバーグ大学 教授），棚部一成（東京大学名誉教授）]

【掲載雑誌】

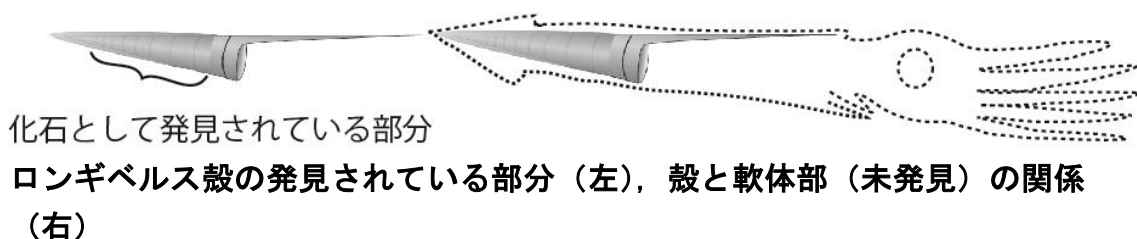
Palaeontology（パレオントロジー 英国古生物学会誌）vol. 56, Part 5.（第56巻 第5部），p. 1081-1106. 9/11 にオンライン発行

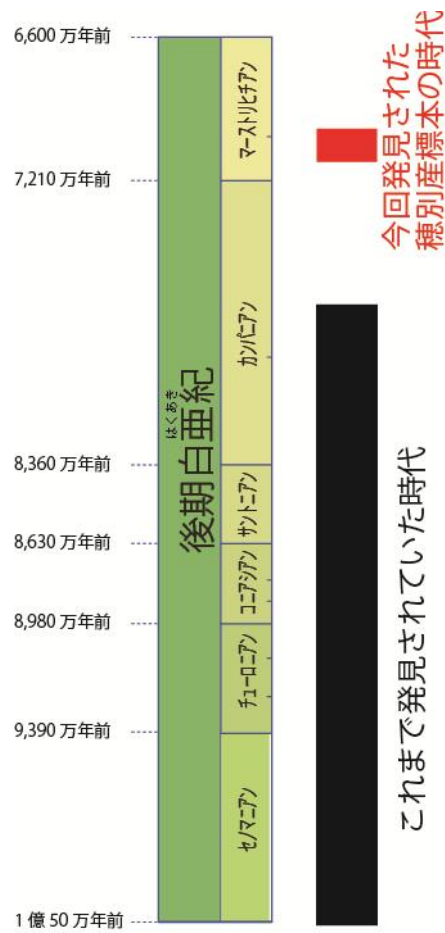
【参考図】



穂別産ロンギベルス・マツモトイ

A, B, 背面観. C, D, 側面観. E, F, 腹面観. B, D, Fはホワイトニングしたもの. 背側の線状の高まり, 腹側に連室細管が位置する点などがトグロコウイカ目と異なる点.





北西太平洋産ロンギベルスの産出層準と穂別産標本の位置

〔問い合わせ先〕

むかわ町立穂別博物館 学芸員（嘱託） 西村智弘

Tel・Fax 0145-45-3141 E-mail: tnishimura@town.mukawa.lg.jp